

令和4年度

施政並びに予算編成方針

箕輪町

## 目 次

はじめに	1
令和4年度予算の概要	2
令和4年度一般会計予算について	3
令和4年度一般会計予算の歳入について	4
令和4年度一般会計予算の歳出について	7
振興計画の基本計画に沿った予算事業	8
特別会計	
国民健康保険特別会計	46
後期高齢者医療特別会計	47
介護保険特別会計	47
水道事業会計	48
下水道事業会計	48

# 令和4年度施政並びに予算編成方針

## はじめに

令和4年3月定例議会において、令和4年度一般会計予算案をはじめ、町政の重要案件をご審議いただくにあたり、私の町政運営に対する基本的な所信を申し上げ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願いするものであります。

世界規模で新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染症の影響は生命や健康だけでなく、社会、経済をはじめ多方面にわたって大きな影響を及ぼす状況となっています。箕輪町においても、これまでに感染防止対策、経済対策、子育て・教育対策、生活困窮者への支援などの事業を迅速かつ柔軟に対応してきました。令和4年度においても引続き感染症による危機を乗り越え、人々の意識や価値観の変容をこれからのまちづくりにつなげていくことが重要です。

内閣府が発表した1月の月例経済報告では、「景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。」としており、日本銀行松本支店が12月に公表した長野県の金融経済動向によれば、「長野県経済は、一部に弱い動きがみられるなか、持ち直しの動きが一服している。」とされています。

先行きについては、社会経済活動を継続していく中での感染症対策や各種施策の効果により、景気の持ち直しも期待されていますが、感染症が再拡大している状況において、その影響など懸念材料もあり、今後十分に留意していく必要があります。

また、近年増加している自然災害については、ソフト面、ハード面から安全・安心な地域づくりを推進するとともに町民の防災意識の向上を図る必要があります。

町の人口は、平成20年の2万6千人余をピークに減少に転じ、平成28年4月には住民基本台帳人口が24,998人と2万5千人台を割り込みました。

こうした人口減少時代に立ち向かうため、平成28年度から第5次振興計画に沿った事業を展開してまいりました。

令和4年2月1日現在の住民基本台帳人口は、24,650人で、出生数の大幅な減少による自然減、転出超過による社会減により、前年同期と比較して169人減少しています。

このような状況の中で、まちづくりの指針となる箕輪町第5次振興計画の後期計画

がスタートします。今後、人口規模の維持を目標としますが、たとえ人口減少や高齢化が進む中でも、地域の活力を維持し、防災・交通・医療・福祉・教育などの基盤が確保された安全で安心して心豊かに暮らせるまちづくりが必要です。

そのために、町の将来像、「みんなで創る、未来につながる、暮らしやすい箕輪町」を目指し、箕輪チャレンジ事業に係る施策を中心に、令和4年度の予算を編成いたしました。

## 令和4年度予算の概要

一般会計及び特別会計を含めた全予算の総額は、171億3,232万7千円です。

### ❖ 令和4年度 会計別歳入歳出予算一覧

(単位：千円、%)

会 計 名		本年度	前年度	比較	増減率
一般会計		10,917,000	9,501,000	1,416,000	14.9
国民健康保険特別会計		2,251,803	2,347,601	△95,798	△4.1
後期高齢者医療特別会計		315,502	306,095	9,407	3.1
介護保険特別会計		2,161,396	2,086,491	74,905	3.6
小 計		15,645,701	14,241,187	1,404,514	9.9
水道事業会計	収益的収入	510,538	505,769	4,769	0.9
	収益的支出	496,274	494,386	1,888	0.4
	資本的収入	188,270	163,436	24,834	15.2
	資本的支出	365,796	311,222	54,574	17.5
下水道事業会計	収益的収入	1,055,967	1,089,389	△33,422	△3.1
	収益的支出	990,352	1,027,386	△37,034	△3.6
	資本的収入	574,957	556,935	18,022	3.2
	資本的支出	899,346	901,380	△2,034	△0.2
合 計(小計+公営企業会計収益的支出)		17,132,327	15,762,959	1,369,368	8.7

# 令和4年度一般会計予算について

## 令和4年度箕輪町一般会計予算額

# 109億1,700万円

### 「みんなで育てるみのわっこ」の町

令和4年度一般会計当初予算額は、109億1,700万円であり、令和3年度に比べ14億1,600万円、14.9%の増となりました。

予算規模の増加の最も大きな要因は、JA箕輪町支所の敷地内に新たに建設を予定している防災交流施設及び文化センターの施設長寿命化事業によるものが主なものです。予算編成にあたり、歳入面では、国庫補助金及び後年度に交付税措置のある地方債を活用すること、歳出面では事業の選択と集中、事務事業の見直しを行い財政の健全性の確保に努めてまいりました。

令和4年度予算は、箕輪町第5次振興計画後期計画の初年度の年となります。計画に追記した新型コロナウイルス感染症への万全な対応を図りつつ、産業や暮らしにおいてコロナ禍を乗り越えるための取組み、大雨による自然災害からの復旧など防災減災対策の推進、デジタル化が急速に進む中、地方から変革の波を起こすDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、ゼロカーボン実現に向けた積極なる温暖化対策の推進について特に重要な施策として重点配分しております。

また、引続き取組む主な重点施策として、人口減少対策、少子化対策については、「みのわU・Iターン応援プロジェクト」や、「みんなで育てる みのわっこ」～パパになるなら箕輪町 ママになるのも箕輪町～をキャッチフレーズとした各種取組みにより、若者の人口減少・移住定住対策、結婚支援と生活基盤の安定対策、子育て、教育施策の充実を図ってまいります。

安全・安心のまちづくりについては、地区防災計画や防災マップ作成などで地域防災力の向上のための支援のほか、近年相次ぐ災害に備え、防災備蓄品の充実や防災情報を確実に伝えるための防災アプリの活用を図ってまいります。

産業振興については、コロナ禍を乗り越え一日も早い社会経済活動を回復し、「農業応援団計画」、「工業ビジョン」、「観光戦略プラン」に基づき地域の活力と働きがいを生む産業づくりのための施策を進めてまいります。

# 令和4年度一般会計予算の歳入について

一般会計予算款別一覧表 (歳入)

(単位：千円、%)

款	本年度 予算額	構成 比	前年度 予算額	構成 比	比較	増減率
1 町税	3,206,517	29.4	2,945,619	31	260,898	8.9
2 地方譲与税	116,300	1.1	114,300	1.2	2,000	1.7
3 利子割交付金	3,000	0.0	3,000	0	0	0.0
4 配当割交付金	13,000	0.1	10,000	0.1	3,000	30.0
5 株式等譲渡所得割交付金	15,000	0.1	10,000	0.1	5,000	50.0
6 法人事業税交付金	50,000	0.5	35,000	0.4	15,000	42.9
7 地方消費税交付金	630,000	5.8	620,000	6.5	10,000	1.6
8 環境性能割交付金	10,000	0.1	10,000	0.1	0	0.0
11 地方特例交付金	32,000	0.3	78,000	0.8	△46,000	△59.0
12 地方交付税	2,300,000	21.1	2,150,000	22.6	150,000	7.0
13 交通安全対策特別交付金	2,000	0.0	2,000	0	0	0.0
14 分担金及び負担金	117,578	1.1	111,761	1.2	5,817	5.2
15 使用料及び手数料	47,892	0.4	42,504	0.5	5,388	12.7
16 国庫支出金	745,712	6.8	759,865	8	△14,153	△1.9
17 県支出金	646,167	5.9	541,140	5.7	105,027	19.4
18 財産収入	7,574	0.1	7,993	0.1	△419	△5.2
19 寄附金	200,003	1.8	60,003	0.6	140,000	233.3
20 繰入金	716,504	6.6	438,360	4.6	278,144	63.5
21 繰越金	300,000	2.7	300,000	3.2	0	0.0
22 諸収入	428,353	3.9	420,955	4.4	7,398	1.8
23 町債	1,329,400	12.2	840,500	8.9	488,900	58.2
歳入合計	10,917,000	100	9,501,000	100	1,416,000	14.9

個人町民税は、新型コロナウイルス感染症の影響による景気回復の動向を考慮し、現年度分については23.6%の増を、滞納繰越分を含めた全体額については23.2%の増を見込みました。

法人町民税は、景気回復の動向を考慮し、現年度分については0.3%の減を、滞納繰越分を含めた全体額については23.4%の減を見込みました。

固定資産税は、土地の減少分が見込まれるものの、令和3年度新型コロナウイルス感染症に伴う事業用家屋・償却資産の軽減措置の終了に伴う増により、現年度分については7.7%の増を、滞納繰越分を含めた全体額については7.3%の増を見込みました。

軽自動車税は、現年度分、滞納繰越分を含め、前年度比0.3%の減を、町たばこ税は前年度比3.9%の減を見込みました。

町税全体では、32億652万円と、前年度比8.9%の増を見込みました。

地方譲与税は、地方揮発油譲与税を2,800万円、自動車重量譲与税を8,200万円、森林環境譲与税を630万円、合わせて1億1,630万円となり、前年度比1.7%の増を見込みました。

利子割交付金は、300万円で前年同額を見込みました。

配当割交付金は、1,300万円で前年度比30.0%の増を、株式等譲渡所得割交付金は、1,500万円で前年度比50.0%の増を、法人事業税交付金は、5,000万円で前年度比42.9%の増を見込みました。

地方消費税交付金は、6億3,000万円で前年度比1.6%の増を見込みました。

環境性能割交付金は、1,000万円で前年度同額を見込みました。

地方特例交付金は、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の減により前年度比59.0%減の3,200万円を見込みました。

地方交付税は、23億円で地方財政計画や税収の状況、実績などを勘案し1億5,000万円増を見込みました。

交通安全対策特別交付金は、200万円で前年同額を見込みました。

**分担金及び負担金**は、農林水産業費、土木費分担金のほか保育園運営費、学童クラブ運営費の負担金などで、前年度比5.2%の増の1億1,757万8千円を見込みました。

**使用料及び手数料**は、道路占用料、公営住宅使用料、戸籍住民基本台帳手数料などで4,789万2千円を見込みました。

**国庫支出金**は、児童手当負担金、自立支援事業費負担金、社会資本整備総合交付金など、事業実施に伴う国庫負担金、補助金及び委託金で、7億4,571万2千円を見込みました。

**県支出金**は、児童手当県負担金、自立支援事業費県負担金、国保基盤安定負担金、県税徴収事務委託金など事業実施に伴う県負担金、補助金及び委託金で、6億4,616万7千円を見込みました。

**財産収入**は、土地建物貸付収入、基金の運用収入など757万4千円を見込みました。

**寄附金**は、ふるさと応援寄附金を2億円見込むなど、2億3千円を見込みました。

**繰入金**は、財政調整基金からの繰入れを3億6,000万円、ふるさと応援基金からの繰入れを3億3,000万円見込むなど7億1,650万4千円を計上いたしました。

**繰越金**は3億円を、**諸収入**は、4億2,835万3千円を見込みました。

**町債**は、13億2,940万円を計上いたしました。前年度比4億8,890万円の増となりましたが、JA上伊那箕輪町支所の敷地内へ建設を予定している防災交流施設建設事業及び文化センターの施設改修のための社会教育施設建設事業に係る起債を計上したことによるものです。なお、地方交付税の財源不足を地方の起債として賄うために発行する臨時財政対策債は、前年度比3億5,000万円減の、1億7,000万円を見込みました。



# 令和4年度一般会計予算の歳出について

## 一般会計予算款別一覧表 (歳出)

(単位:千円、%)

款	本年度予算額	構成比	前年度予算額	構成比	比較	増減率
1 議会費	102,900	1.0	107,960	1.1	△5,060	△4.7
2 総務費	2,055,558	18.8	1,283,365	13.5	772,193	60.2
3 民生費	2,792,272	25.6	2,853,399	30.0	△61,127	△2.1
4 衛生費	1,270,304	11.6	1,158,499	12.2	111,805	9.7
6 農林水産業費	580,175	5.3	483,910	5.1	96,265	19.9
7 商工費	538,995	5.0	487,233	5.1	51,762	10.6
8 土木費	974,890	8.9	875,621	9.2	99,269	11.3
9 消防費	422,726	3.9	379,795	4.0	42,931	11.3
10 教育費	1,095,394	10.0	908,032	9.6	187,362	20.6
11 災害復旧費	111,840	1.0	3,000	0.0	108,840	3628
12 公債費	941,946	8.6	930,186	9.8	11,760	1.3
14 予備費	30,000	0.3	30,000	0.3	0	0.0
歳出合計	10,917,000	100.0	9,501,000	100.0	1,416,000	14.9

一般会計歳出予算の概要については、第5次振興計画に掲げられた6つの「まちの将来像」に沿って、ご説明申し上げます。

# 振興計画の基本計画に沿った予算事業

## ❖ 1 人の「Wa！」が輝くまち

### <人のつながりと協働のまちづくり>

地域住民が自主的に行うコミュニティ活動を通じたつながりを深める取組みや地域課題を解決する取組みに対し、平成16年度に創設した地域総合活性化事業交付金により引続き支援してまいります。

町民の意見を町政に反映するため、「町長への手紙」、「住民満足度調査」を引続き実施し、寄せられた意見をデータベース化することで、情報共有を図り政策の立案、改善につなげ、住民満足度の向上を図ります。

住民参画によるまちづくりを進めるため、多世代に渡る住民の居場所や活動拠点となる施設整備を進めてまいりましたが、災害時の防災拠点としての活用も視野に入れた機能を有する施設として**防災交流施設**の整備を行います。

男女共同参画や女性活躍推進のため、現行計画の事業の評価、検証、見直しを行い**第3次男女共同参画計画**を策定します。

女性が仕事と家庭、子育てを両立できるよう、相談や学びの機会をつくるほか、地域や企業に対し女性が活躍しやすい環境づくりと意識の啓発を進めます。

若い世代のニーズの反映や活躍の場を創出する「**若者活力創出事業**」に取り組んでまいります。「若者プロジェクトチーム」を立ち上げ、若者自ら希望を実現する活動の仕組みづくりを行います。また、若者の活力が町全体の賑わいに繋がるよう、若者を応援する町民意識を醸成してまいります。

**地域間交流事業**として、引続き豊島区、浜松市庄内地区、東京箕輪会、中京箕輪会、幸田町を通じた交流を行い、関係人口の拡大を図ってまいります。

### <安全・安心の推進>

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況ですが、強大な台風や局地的な集中豪雨、大規模地震など激甚化・頻発化する自然災害の脅威には万全な備えが必要です。令和3年夏の豪雨災害の復旧事業は進んでおりますが、この災害の課題を踏まえ氾濫を防ぐ河川改修や急傾斜地の崩落防止対策などハード事業を緊急度に応じて順

次進めてまいります。また、食料品、パーテーション、簡易トイレなどの備蓄を進め現状に即した防災訓練に取り組むとともに、地区防災計画策定や防災マップ作成などの支援を通じ、町民の防災意識、地域防災力の向上を図ってまいります。

災害時の情報伝達は極めて重要であり、防災行政無線のほか防災アプリ「みのわメイト」を導入し活用するとともに、携帯電話を利用していない高齢者一人暮らし世帯を中心に戸別受信機を貸与しております。

消防体制は広域常備消防組織を柱として、消防団は火災や災害時の支援、火災予防、捜索活動などを担っており、定期的に団員の消防技術訓練や装備の点検を実施するなど地域に根ざした活動を展開しています。団員確保難や出勤率の低迷など現状は厳しい状況にありますが、消防庁で示された基準に基づき団員報酬を引き上げるほか出勤報酬も増額し、危険を伴う活動に見合う処遇の改善を行ってまいります。今後は、団員の負担軽減など消防団のあり方を検討してまいります。また、老朽化した第5分団の消防ポンプ車を更新いたします。

WHOの国際認証取得から10年を経過する**セーフコミュニティ活動**は、対策委員会や各地区の活動により目指す成果が徐々に現れていますが、取り組みを検証する中で組織体制など今後の方向性を検討するとともに、地域住民に密着した安全・安心の向上に向けた活動を展開する7つの地区協議会へ支援してまいります。

事故や犯罪を抑制し安心感の向上を図る「**安全安心パトロール事業**」を継続するとともに、交差点の交通事故防止対策として経年劣化で効果が低下しているカーブミラーについて3年計画で更新を進めています。また、南信交通災害共済保険への公費加入を0歳から中学生まで行っており、高齢者の運転免許自主返納の促進も継続するなど交通安全推進に積極的に取り組みます。

## <快適な生活環境の整備>

### ○資源の循環

箕輪の財産である豊かな自然を後世に残していくためには、環境負荷の少ない循環型社会の構築が必要です。町内の木質資源を薪、チップとして有効活用するとともに、いつでも利用可能な資源回収拠点を併設した **みどりの資源リサイクル事業**を引続き実施し、更なる資源の循環を目指します。

生ごみの減量化の取り組みとして、食品ロスの削減と合わせ引き続き家庭での**生ごみ処理機購入に対する補助金**を行ってまいります。

また地球環境問題の一つになっています海洋プラスチック汚染への対応として、資

源プラスチックの回収に努めるとともに、現在未回収となっている製品プラスチックの回収についても検討を行ってまいります。さらに適切なプラスチック製品の使用や脱プラスチックへのライフスタイルの変容を促すため周知啓発に努めてまいります。

近年、路地型太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー施設の普及が進んでおりますが、住宅地への設置により住環境面での弊害や災害等への影響が懸念されることから、令和元年10月と、令和2年7月にガイドラインの見直しを行いました。

地球温暖化対策に資する再生可能エネルギー由来の電力需要の高まりで、全国的に設備の設置が加速している一方で、災害発生危険区域などへの設置により、災害誘発リスクの高まりなどが懸念されていることから、適切な設置等に向け条例制定について検討してまいります。

## ○環境美化

環境美化統一行動には多くの町民の皆様にご参加いただき、美しく住みよい生活環境の保全にご協力いただいています。

ごみの不法投棄は環境の悪化とごみに対する意識の低下につながります。町民一体となって防止に努め、啓発活動を進めてまいります。

アレチウリをはじめとする特定外来植物は、旺盛な繁茂により在来の生態系を破壊し、動植物に悪影響を及ぼしています。**特定外来植物防除**のための統一行動日を設定し、地域だけでなく、企業や団体での防除活動も進めるよう広報などの対策の強化とともに、防除活動団体に対する必要物品等の助成を引続き行います。

## ○地域公共交通

平成21年度から運行している**みのちゃんバス**は、年間約3万人の皆様にご利用をいただいています。さらに、平成29年4月から伊那地域定住自立圏形成協定を締結した伊那市、南箕輪村とともに**伊那本線**の運行も開始し、伊那市街及び伊那中央病院への交通が確保されています。

高齢化の進行により、買い物や通院など高齢者の日常生活の移動手段の確保が大きな課題となっており、令和2年度に開催した地域交通検討会議における意見を基に、高齢者の足の確保を中心とした公共交通として、令和3年度に**デマンド型タクシーの実証実験**を行っています。この実証実験の結果を踏まえ、町に適した公共交通システムの構築について更なる検討を進めてまいります。

また、リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通を見据えた飯田線の活用、地域振興策についても検討してまいります。

## ○公衆用トイレ

J A上伊那箕輪町支所北側の町道改良工事に伴い、センターパーク松島に設置してあった公衆用トイレが撤去され、町中心部の公衆用トイレは松島コミュニティセンター北側のみになることから、現在J R伊那松島駅にあるトイレを公衆用トイレに改築する方向でJ R東海と協議を進めています。関係者協議が整い次第公衆用トイレ建設に着手してまいります。

## ○消費者保護

特殊詐欺の被害に遭う高齢者が増加する中、**特殊詐欺被害防止**のための対策機器設置に対する補助を引続き実施するとともに、高齢者の被害防止のための啓発や、高齢者見守りネットワークによる見守り、声かけ等の取組みを行ってまいります。

また、多様化、複雑化する消費生活相談に対応するため、伊那市、辰野町、南箕輪村と当町の伊北4市町村で消費生活センターを共同設置し、身近な相談場所として運用を開始します。

## ○公園墓地事業

お墓を持たない世帯の増加や「子どもに迷惑をかけたくない」「将来お墓を維持できるか不安」などの理由から全国的に墓じまいをするケースが急増しており、当町においても町民や葬儀社から、墓地の承継に不安を抱く方などで共同で埋葬する合葬式墓地の整備を望む声を受け、松島大原公園墓地内に**合葬式墓地**を建設します。

建設場所は南東の未整備地約340㎡を活用し、鉄筋コンクリート製の納骨堂1棟を建設、その建物内部の地上部にロッカー式による200体埋蔵可能な個別埋蔵室と地下に800体埋蔵可能な共同埋蔵室を設置します。また納骨堂の前には花台、香炉台を設置した礼拝スペース設けます。工期は6か月程度を見込んでおり、完成後募集を開始いたします。

## ○ゼロカーボン推進事業

世界各地で発生する豪雨災害や猛暑、干ばつによる食糧不足など地球温暖化は全生命の危機となっており、町においても、国、県と歩調を合わせ具体的な取組みが求められています。エネルギーはもとより、交通や建物のインフラ、産業活動などの社会システムのあり方を見直すほか、省エネなど私たちの日常生活の見直しも求められます。このため家庭や事業所の省エネ化に向けたエネルギー消費量等の見える化のための住宅エコ診断や中小事業者省エネ診断の促進、家庭や事業所におけるエネルギーの自立化に向けた太陽光発電設備や蓄電池を共同で購入するグループパワーチョイスや

初期費用なしで設置できるPPAの促進、化石燃料の使用削減や海洋汚染問題への対応も含めた脱プラスチックや倫理的消費行動に向けたエシカル消費の推進、自動車のEV化やエコドライブの推進など脱炭素社会に向けたライフスタイルの変容を促す取組みを進めてまいります。また、公共施設においても省エネ化やエネルギーの自立化、公用車のEV化、森林吸収源対策などを進めてまいります。さらに有識者や事業者らによる調査研究も引き続き行い、国や県、事業者などの動向にも注視しつつゼロカーボンに向けた取組みを推進してまいります。

こうしたことを盛り込んだ、**町地球温暖化対策実行計画**を本年7月に施行し、**ゼロカーボンシティ宣言**をするとともに、2050年のゼロカーボンに向けて住民、事業者、行政が一体となって取組みサステナブルな町づくり、地域づくりを行ってまいります。また、国や県の補助金・交付金等の活用に向け事業計画書の策定に着手いたします。

### <移住定住推進事業>

箕輪チャレンジにおいて、将来の暮らしやすさを守る人口として、2025年に24,500人以上の維持を目標に人口減少対策のための施策を進めていますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済の低迷により、町の人口は社会増から社会減に転じており、令和4年2月現在の住民基本台帳人口は24,650人となっています。また、出生数の大幅な減少と0歳から20歳未満の年齢層と20代女性の転出超過、大学進学等で転出した若者のUターンが少ないことなどが大きな課題となっています。

令和元年度から実施しています「**みのわU・Iターン応援プロジェクト**」については3年が経過し実績の検証・評価を行い、より効果のある施策とし一層の若者・子育て世代のU・Iターンによる移住者の増加を目指します。

近隣地域からの移住定住について一定の成果は出ていますが、圏域外や県外からの移住定住については低調であることから、今年度積極的に推進するために補助金の見直しを行いました。

オンラインによる移住相談会・移住セミナーを積極的に実施し、都市部での対面による相談会と合わせ相談体制の充実を図るほか、過去に移住体験住宅を利用された方等を対象とした「**田舎暮らし体験ツアー**」の実施、「**短期移住体験住宅**」と、1か月から1年間の滞在を希望する方等を対象とした「**長期移住体験住宅**」の利用促進、「**空き家バンク**」と「**空き地バンク**」の相互活用など、さらなる移住定住の促進を図ります。

人口増加による地域の活性化を図るため、新たに宅地開発事業者に対し「**宅地開発促進事業補助金**」を創設しました。

また、昨年オープンしました東みのわサテライトオフィスを拠点にした地域と都市部住民をつなぐ仕組みづくりを行います。また、森林（もり）の里親に関する協定を締結し森林整備を行っている豊島区の区民を対象とした環境交流事業を開催するなど、関係人口の拡大も図ってまいります。

### <外国人生活支援>

町には多くの外国人の皆さんが住んでいますが、言葉の壁が大きく、就業が難しい状況です。町では多文化共生推進員、外国人生活相談員の2人体制で通訳・翻訳をはじめ生活上の様々な支援を行っており、引続き就業サポートなど定住を目指した活動を進めてまいります。

### <DX（デジタルトランスフォーメーション）の力強い推進>

日本の人口が減少している中、東京都など隣接県では転入による人口増が続いていますが、総務省が1月に発表した統計によると東京23区の人口動態が転出超過となりました。人口一極集中の弊害と地方の人口減少の課題を解消するためには、地理的な距離を限りなく縮めることができるデジタル化、「DX戦略」の具現化が必要であり、町としてもスピード感をもって力強く取り組んでまいります。

町では箕輪町DX戦略を推進するため「DX推進室」を設置し推進体制を強化し、行政分野のほか産業、教育分野を中心に取り組んでまいります。

行政分野では、令和3年度にデジタル化の入口として多くの申請書等の押印を廃止するとともに、職員、議員へのタブレット端末を配備し、各種会議等での活用を通じたペーパーレス、働き方改革も含めたテレワークも始めています。また、全業務の業務量調査を実施し業務の可視化を図りましたので、これをベースに業務改善、RPAの導入を検討してまいります。

これと並行して文書管理・電子決裁システムを導入し、一層のペーパーレス化、業務の効率化を図るとともに、施設予約や各種申請等をデジタル化することで町民の利便性向上に努めてまいります。

なお、教育分野のDXについては、後段で示させていただきます。

### <理解され信頼される行政運営>

行政内部でのDXを進めることで事務の効率化はもとより働き方改革、ペーパーレスなど環境への負荷軽減を図り、増大・多様化する行政需要に、よりの確かつ迅速な対応ができる組織を目指すとともに、新型コロナウイルス対応やデジタル化の進展など、極めて速いスピードで変わりゆく社会の変化に柔軟に対応できる職員の意識改革や育成を

進めてまいります。

### 令和4年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
箕・継	地域総合活性化事業交付金（緊急対応分含む）	48,200
箕・継	町長への手紙	106
箕・継	住民満足度調査、17歳町民意識・生活実態調査	831
継	防災交流施設建設事業	517,000
継	南信交通災害共済掛金負担金(0歳から中学生まで)	670
継	地域集会施設、改修事業補助金	6,017
箕・継	男女共同参画事業(第3次計画策定支援、就業相談など)	8,722
継	地域間交流事業 (豊島区、浜松市庄内地区、東京箕輪会・中京箕輪会、幸田町)	3,800
箕・継	セーフコミュニティ関連委託料	1,800
箕・継	セーフコミュニティ活動推進補助金	700
継	安全安心パトロール事業	5,012
継	交通安全対策工事費（道路反射鏡更新含む）	13,663
継	運転免許自主返納支援事業	1,000
拡	消防団員報酬等	15,295
継	消防団出動協力家族報償金	900
新	消防団員準中型等運転免許証取得補助金	2,400
継	耐震性貯水槽設置工事	16,940
継	消防団車両更新事業(第5分団ポンプ車)	22,039
継	消防施設等整備補助金	818



継	災害時用備蓄品	2,241
新	気象観測装置更新等業務委託	4,586
新	西部地区防災備蓄倉庫改修工事	1,138
新	防災アプリシステム改修業務委託	2,520
新	移動系無線設置業務委託	6,274
継	自主防災組織育成補助金	1,500
継	防災士養成事業補助金	110
箕・継	みどりの資源リサイクル事業	1,060
新	紙おむつ使用者ごみ袋支給事業	1,314
継	生ごみ処理機購入補助金	2,000
継	ごみ処理施設運営等負担金(上伊那広域連合負担金)	135,485
継	ごみ・資源物収集業務委託料	81,037
継	特定外来植物防除活動補助金	23
継	伊那松島駅公衆用トイレ建設事業	26,972
箕・継	町内巡回バス運行業務委託料	19,723
箕・継	伊那地域定住自立圏地域公共交通(伊那本線)負担金	8,590
箕・継	伊那本線高齢者等利用助成負担金	300
継	松島大原公園墓地合葬式墓地建設事業	31,843
継	特殊詐欺防止対策機器設置補助金	90
継	消費者行政啓発事業	529
新	伊那市消費生活センター負担金	874
新	地域脱炭素移行・再エネ推進事業計画策定業務委託料	9,350

継	ゼロカーボン推進事業	9,573
継	個人番号カード交付事業費	3,083
箕・継	移住体験ツアー業務委託料	1,533
箕・継	みのわファンクラブファンミーティング企画運営委託料	1,738
箕・新	宅地開発促進事業補助金	3,000
箕・継	若者世帯定住支援奨励金	29,400
箕・継	空き家改修費等・片付け・解体補助金	6,000
箕・継	箕輪町U・Iターン応援就労・起業支援補助金	1,800
箕・継	箕輪町U・Iターン応援特定人材就労奨励金	2,400
箕・継	箕輪町U・Iターン応援就職活動支援補助金	100
箕・継	箕輪町U・Iターン応援奨学金返還等支援補助金	1,171
箕・継	環境交流ツアー委託	702
箕・継	関係人口創出拡大事業	4,653
箕・継	環境交流ツアー委託	702
箕・継	箕輪町若者プロジェクトチーム実施委託料	858
箕・継	箕輪町若者活躍応援補助金	1,000
継	外国人住民生活相談業務	5,969
新	文書管理・電子決裁システム導入	40,000
新	施設予約システム	375

## ❖ 2 支え合い、健やかに心豊かに暮らせるまち

### <健康づくりの推進>

町の皆さんが住みなれた地域で、支え合い生涯にわたって健やかに暮らせるよう、「箕輪町健康づくり推進条例」の基本理念に沿って「第3次健康増進計画」、「第3次食育推進計画」、「自殺対策計画」の施策を推進し、更なる健康寿命の延伸を図ってまいります。

箕輪町国民健康保険のデータでは、高血圧症や脂質異常症、高血糖など動脈硬化の原因となる疾患を合わせ持つ方が多く、脳血管疾患、虚血性心疾患や糖尿病性腎症による人工透析が増加しております。また、がん疾患が医療費に占める割合も増加しております。こうした生活習慣病やがん疾患を予防するためには、若い頃から健康づくりに取り組むことが重要となります。町は、「箕輪町健康づくり推進条例」において、町が実施する事業の対象に町内在勤者を加え働き盛りの健康づくりを推進することとしておりますので、企業を巻き込んだ働き盛りの健康づくり、健康無関心層への働きかけ、望まない受動喫煙を防止する「箕輪町受動喫煙防止条例」の啓発とがん検診受診率の向上に努めて、生活習慣病やがん疾患の予防に取り組めます。

**健康づくり事業**は、生活習慣病予防として高血圧に焦点を当て、尿中推定塩分摂取量検査の実施、企業への減塩啓発、食育などにより、高血圧ゼロを目指して取り組みます。運動習慣の定着としましては、町内企業も含めた町全体で取り組む「ウォーキング事業」とげんきセンターでの「現役世代向け健康増進プログラム」の実施や、げんきセンター南部では、夜間や土日を開館するなど働き盛りの方々の健康づくりを支援してまいります。

**がん予防**は、各種がん検診の受診率向上に努め、20歳でのピロリ菌検査、43歳、46歳でのABC検診、肺がんCT検査を継続して実施し、令和4年度から、胃がん検診について50代に内視鏡検診を導入します。

**みのわ健康アカデミー**は令和4年度は17期生となります。卒業生は699人となりました。一年間を通じた健康運動学習と卒業後もアカデミーのつながりによる継続した健康づくりを維持しており、医療費は約半分、介護認定率も低いなど成果を上げており、今後も内容を充実改善しながら更に成果の上がるものとしてまいります。

**予防接種事業**につきましては、定期予防接種の接種率向上と新型コロナワクチン接種を速やかに安全に実施し、町民の健康、命を守ります。

歯科保健事業は、ライフステージそれぞれに応じた歯科保健対策と、2歳児健診でのフッ化物塗布、保育園全園と西小学校でのフッ化物洗口を実施します。フッ化物洗口は小中学校での実施拡大に努め、10年ごとの節目に無料で受けていただいている歯科ドック事業は引続き70歳も対象として実施いたします。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施につきましては、マネジメント職員を配置して、高齢者の低栄養、不活動状態、口腔機能低下の予防・改善を行い、少子高齢化に備えるべく高齢者の健康保持、フレイル予防、介護予防に力をいれてまいります。

精神保健事業は、誰もが心の病に成り得ることについて社会全体の正しい理解と取組みが大切です。精神保健について理解を深めるための啓発活動と、特にこのコロナ禍においては関係機関との連携を更に深めて支援に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、感染予防対策に町のみなさんに大変ご協力をいただいておりますが、医療機関への受診控え、運動の機会や社会活動などへの参加が少なくなっていることなど健康への悪影響が懸念されます。新型コロナワクチン接種を早く安全に進めて町民の健康、命を守ります。また、引続き感染予防対策に取り組み、感染状況や国の情報などを注視しながら、町のみなさんの健康状態の把握に努め、的確な健康づくり事業に取り組んでまいります。

## <共に生き、支え合う福祉のまちづくり>

第4期総合福祉計画の基本理念である「支えあい、健やかに心豊かに暮らせるまち」を実現するために、各計画で掲げた「地域福祉・高齢者福祉・障がい者福祉」の事業を展開してまいります。

社会構造や経済状況の変化及び新型コロナウイルス感染症による影響により、生活困窮やひきこもり、虐待などの課題は多様・複雑化しています。これらの課題に対応する相談窓口や町内連携体制を整え、関係機関と連携しながら、相談支援体制を行ってまいります。

多様化する課題を公的な福祉サービスだけで対応することは困難な状況であり、近年各地で多発する大規模な災害に対応するためにも、地域における支え合いの体制づくりや、支援活動を行う住民のつながりの再構築が重要となります。誰もが自分らしく暮らせるお互いさまの地域づくりを社会福祉協議会や区・地区社協等と連携して進めるとともに、地域において身近な存在である民生児童委員の皆様や福祉に関係する団体等がそれぞれの強みを生かした、包括的に支援できるネットワークづくりを引続き推進します。

認知症高齢者や知的・精神障がい者の権利擁護、財産管理などを行う上伊那成年後見センターや、新たに組織した権利擁護ネットワーク連携協議会と連携し、認知症や

知的・精神障がい者の権利擁護、財産管理などに引続き取り組んでまいります。

**医療費給付事業**については、乳幼児、障がい者、母子・父子家庭等の皆様が安心して医療が受けられるよう、県補助事業の枠を超えて町単独事業としても給付を引続き行い、子育て世帯や障がい者の方々などの経済的負担の軽減に努めてまいります。

### <障がい者が共に暮らせるまちづくり>

地域社会における共生の実現に向けて、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、障害者総合支援法に基づく事業を行うとともに、引続き町単独による障がい者支援事業を推進してまいります。

障がいのある方や難病の方が、安心して自分らしくこの地域で日常生活や社会生活を営むことができるよう、**障がい福祉サービス**と**地域生活支援事業**を引続き実施するとともに、障がい者の活動や居住の場の確保、福祉サービスの充実に取り組んでまいります。

上伊那圏域障がい者総合支援センター、上伊那圏域地域自立支援協議会、各関係団体等と連携を図りながら、地域社会資源である事業所や人材の育成に取り組んでまいります。

子育て世代や障がい者の皆様をはじめ誰でも自由に利用できるコミュニティ空間、世代間の交流の場として多くの皆様に利用いただいている「みのわ〜れ」「みのあ〜る」については引続き実施してまいります。

### <高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせる体制づくり>

超高齢社会を迎え、医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれており、福祉・介護職員の人材不足をはじめ多くの課題を抱えている状況であり、町の65歳以上の高齢者人口は、約7,400人で、高齢化率は30%を超え、増加傾向は今後も続いていくものと考えられます。

要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供される「**地域包括ケアシステム**」の構築に引続き取り組んでいきます。

さらに、福祉制度を支える介護人材の不足が顕著であるため、介護人材確保・介護人材育成支援の助成制度を創設し、地域において安定したサービスが提供できる体制づくりに取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症の長期化による外出自粛に伴い、高齢者がフレイル状態（虚弱）となることが懸念されています。従来から取り組んできた「いきいき塾」をはじめとして「いきいき百歳体操」など、高齢者の生きがいと健康づくりが地域の中

で進められるよう積極的な支援を行ってまいります。

地域のボランティアによる高齢者等の集いの場、いわゆる「ふれあいサロン」については、現在、町内で40か所を立ち上げていただいております、これをさらに推進するため、引続きサロン運営に必要な備品等の整備に対して財政支援を行うとともに、生活支援コーディネーターの配置や生活・介護支援サポーターの養成に努め、地域の支え合い体制づくりを推進してまいります。

増加する認知症高齢者への対応として、すまいるサポート事業やオレンジカフェ事業の継続、認知症高齢者等見守りシールの交付・個人賠償責任保険事業の周知や、認知症初期集中支援チームによる活動の展開に努めてまいります。

自動車の運転免許自主返納等により通院や買い物が困難となった高齢者に対し、交付するタクシー利用助成券は、透析患者など対象者を拡充して実施してまいります。

高齢者の社会参加は大きな生きがいづくりでもあり、引続き長寿クラブやシルバー人材センター等への支援を行ってまいります。

既に到来している超高齢社会への対応は、行政、地域住民、民間事業者等様々な主体が、それぞれの役割の下、連携して行われることが重要であるため、引続き時代の変化に対応できる新たな地域づくりを積極的に推進してまいります。

#### 令和4年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継	検診事業費(若年健診、特定健診、各種がん検診、歯科ドック等)	44,969
新	胃内視鏡検診	1,756
継	健康増進事業(健康アカデミー、健康教育等)	10,787
継	予防接種事業費(定期予防接種)	74,792
継	精神保健事業費	3,125
継	後期高齢者保健事業費(健診、保健事業等)	8,825
箕・継	活動量計読み込みシステム事業	924
箕・拡	健康ポイント事業	1,554
継	げんきセンターを活用した現役世代向け健康増進プログラム	2,464

継	フッ化物洗口・フッ素塗布	1,451
継	骨髄移植ドナー助成金	300
継	ウォーキング推進事業	1,545
新	高血圧ゼロ対策	1,513
拡	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	5,703
継	町社会福祉協議会運営費補助・ボランティア育成事業等委託	56,054
継	要支援者支援システム使用料	1,221
新	個別避難計画作成機能追加業務委託料	990
継	医療費給付事業(補助・町単独)	179,081
継	社会福祉総合センター管理費	4,028
継	長寿者祝金事業	905
新	介護人材・確保支援事業	795
拡	高齢者タクシー助成券	4,272
継	(新型コロナ関連)高齢者外出支援券	16,042
新	要介護認定者生活支援金	16,950
継	障がい者住宅家賃補助金	1,800
継	難病患者福祉金	6,000
継	特別支援学校通学福祉金	1,291
継	在宅重度心身障がい者タクシー利用助成券	525
継	(新型コロナ関連)障がい者外出支援券	1,099
継	障がい児者福祉サービス給付費	477,398
継	自立支援医療費給付費	21,333
継	障がい者地域生活支援事業	22,783

継	障がい者地域活動支援センター事業(みのわ〜れ・みのあ〜る)	10,381
箕・継	地域ふれあいサロン等支援事業補助金	390
継	上伊那成年後見センター運営委託料	2,990
継	地域密着型サービス事業所居住費助成金	540
新	地域医療介護総合確保基金事業補助金(小規模多機能型居宅介護)	38,634
継	介護保険特別会計繰出金	328,543

### ❖ 3 「家族になろう」といえるまち

#### <結婚支援事業>

少子化の要因としては、進学・就職などによる20～30代の若者の転出超過と、**婚姻数の減少**が出生数に大きく影響していることから、UIターンや移住定住政策とともに、「**結婚支援**」と「**新婚家庭の経済負担軽減・定住支援**」施策が重要となります。

未婚化・晩婚化・少子化が進む中で、一組でも多く結婚ができるように、**アドバイザー**による相談・お見合いなどに重点を置き、一人ひとりに寄り添った伴走支援を行います。また、出会いの機会を創出するとともに、自己研鑽や将来を見据えた人生設計を考える**セミナー**を開催し、結婚への意識向上を目指します。

新婚家庭の経済的負担軽減と町内定住を推進するため、新婚生活にかかる費用の一部を補助します。

#### <子育て支援のための保健事業>

出産に関しては、**妊婦健康診査**、**産婦健康診査**、**妊婦歯科健康診査**（プレママ歯ッピー事業）、新生児については、**乳児一般健康診査**の補助を引続き実施し、令和4年度は新たに**新生児聴覚検査**の補助を開始します。保健師の全戸訪問、出産後の母体管理・育児支援・母乳相談などを行う**育児・母乳相談事業**、**産後ケア事業**により母体や育児を支援します。また、3歳児健診に**視能訓練士**による屈折検査機器を使った視力検査を実施するなど乳幼児健診の内容を充実させてまいります。不妊や不育に悩む方の経済的負担を軽減するための、**不妊治療費**、**男性不妊治療費**、**不育症治療費**の補助制度も引続き実施いたします。



夫婦共働きや核家族が多くなるなど地域や世代間のつながりが希薄であったり、コロナ禍で交流の機会が少なくなるなど、育児や子育てに不安をかかえる保護者も多くなっております。庁内で連携を取り支援を行ってまいります。

### <育児・子育て支援>

箕輪町に生まれたお子さんへ**出産祝い金**をお贈りし、お祝いの気持ちとご家族へ感謝の気持ちをお伝えする「子育て応援！誕生お祝い事業」を引続き実施してまいります。また、子育てに関する情報やテキストを記載した**箕輪町オリジナルの「子育てノート」**を配布してまいります。

**こども相談室**は、子ども家庭支援員（保健師、社会福祉士、保育士）及び教育相談員を引続き配置し、妊娠期から子どもの成長とともに変わっていく子育ての悩みなど、相談・支援を必要とする親子がアクセスしやすい体制や情報の一元化を図り、関係機関と連携した切れ目のない相談・支援を引続き実施してまいります。また、核家族化に伴い孤立しやすい子育て世帯を地域で見守り、社会全体で子育てを応援できるよう関係機関の見守り体制構築に取り組み、社会問題となっている子どもへの虐待やヤングケアラー等の早期発見と相談支援、その予防・家庭支援に努めてまいります。

子育て親子の交流の場として活用されている二つの**子育て支援センター**は、より親しみをもって利用される施設となるように各種事業を実施してまいります。また、地域の子育てサークルについては、地域子育て支援事業補助金を継続するとともに、子育て支援員がサポートを行い活性化を図ってまいります。

**仕事と子育ての両立支援**や**子育ての多様なニーズ**に対応するため、病児・病後児保育、一時預かり保育、ファミリーサポート事業、子育て短期入所生活支援事業、養育支援訪問事業を継続してまいります。

子育て支援サイト「いいね！みのわっこ」や、**子育て支援アプリ「子育てアプリ♡みのわっこ」**を活用し、子育て世代への情報発信を積極的に進めてまいります。

**保育園**については、子どもの成長・発達をより支援し、自ら考動できる子どもを目指すと共に、保護者の就労環境を踏まえ、**保育支援システムの活用**をはじめ、保育士の専門性を高め、保育の質の向上につながる研修の充実、地域とのつながりや立地、地域に根差した自然を生かした保育・やまほいく・食育等を実施してまいります。

増加する未満児への保育に対応するとともに、全園で長時間保育を実施します。また、支援を必要とする児に対応するため加配保育士を配置し、一人ひとりの発達を見極めた支援計画に基づく保育を実施すると共に、保護者支援も引続き行ってまいります。

**子育てに伴う経済的な負担の軽減**を図るため、3歳以上児の幼児教育保育無償化、

実費徴収となる給食副食費の負担軽減をはじめ、3歳未満児についても、ひとり親等世帯や多子世帯の保育料の軽減を引続き実施してまいります。

新型コロナウイルス感染防止対策としては、引続き、保護者と連携しながら健康チェック、消毒・換気など基本的な感染対策に取り組んでまいります。

保育園施設については、木下保育園の開園により保育施設整備計画は完了しましたが、今後は各保育園の老朽化した屋外遊具や施設修繕などを引続き行うとともに、三日町保育園の敷地を拡張し、保育環境の改善を進めてまいります。

こども発達支援事業所若草園については、療育支援に関する専門職を充実すると共に、単独・併行・親子通園の児及び医療的ケアが必要な児に対し、適切な支援が提供できるように職員体制の充実を図ってまいります。また、障がい等のある子どもの療育、保護者の相談支援・つながりづくりに取り組み、関係機関との連携を図るとともに、より充実した発達支援が実施できるように敷地を拡張し、手狭である現施設の増築を進めてまいります。

#### 令和4年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
箕・新	結婚新生活スタートアップ補助事業	3,000
継	妊婦健康診査	21,954
箕・継	子育て応援！誕生祝い事業	3,600
継	子育てノート	550
継	産婦健康診査	1,585
継	未熟児養育医療費給付事業	1,822
新	新生児聴覚検査補助	900
新	屈折検査機器	1,859
箕・継	産後ケア、育児・母乳相談	835
継	乳幼児一般健康診査	918
箕・継	不妊治療費助成・男性不妊治療費助成・不育症治療費助成	2,322

箕・継	保育園施設整備事業	32,103
箕・継	(新型コロナ感染拡大防止対策)保育園アルコール等消耗品	1,750
継	みのわっ子チャレンジ事業	1,222
箕・継	一時預かり保育事業	5,233
箕・継	病児・病後児保育事業	22,001
箕・継	こども発達支援事業所若草園運営事業	32,864
箕・新	こども発達支援事業所若草園増築事業	3,900
新	子どもの居場所づくり推進事業	3,710

## ❖ 4 産業が輝き、働く場所に恵まれたまち

### <産業の活性化>

#### ○農業関係

「みのわテラス」がオープンして間もなく1年になります。コロナ下という厳しい門出ではありましたが、おかげさまで4月のオープンから1月末までの累計で、レジ通過数で約91,000人の方にお越しいただき、施設全体の売上も約2億円を超えました。リニューアル前の倍近い方にお越しいただき、ひとまずは提言いただいた「にぎわい」を作り出すことができたように思いますし、2億円というお金が地元で回ることで、農家の所得向上や地産地消が促進される環境が生まれ、地域内での経済循環を後押しする仕組みになったように思います。

令和4年度も引続き町と指定管理者で作る協議会を主体として、みのわテラスを盛り上げていきます。月例のイベントについては、朝市から毎月テーマを決めた半日イベントに改め、みのわ祭りの花火を楽しむ夕市なども予定しています。

情報発信については、みのわテラスインスタグラムのフォロワーがこの1年で1,000人を超えました。観光客の情報入手先はSNSと観光情報サイトが50%近くを占めており、引続きデジタルとアナログの両面から情報発信を進めます。

指定管理者による取組みも始まってきており、やまびこテラスではいちごハウスの

整備を進め、7月以降には通年でいちご狩りができる予定です。

**ファームテラス**では、**学校給食での地産地消**として町内産を中心とした食材を町内小中学校に供給していますが、給食食材という特性から一定以上の品質を求めらる反面、一食当たりの給食費に制約があり、食材を供給する農家が限られることが課題となっておりことから、**給食食材供給推進補助金を新設**し出荷手数料を支援する取組みを始めます。避難地である駐車場には公衆無線LANを整備しましたので、順次利用が可能になります。

**加工施設**では季節ごとのフレーバーを加えたソフトクリーム・ロールケーキの新たな商品開発を行うほか、農産物加工の無料相談や提案を更に進めます。

**サイクルテラス**では、電動アシスト付自転車を活用したツアーの提案や、県・上伊那・上伊那北部など広域のサイクルツーリズムへの参加、サイクリストのためのエイドステーション、移住希望者等の町内探索の発着点といった場として育てていきます。

子育て世代からの要望が多かった「遊具のある緑地」は非常に好評で、冬季でもご利用いただいておりますが、日陰を求める声を多くいただくことから、緑陰を作り出す植樹を予定しています。

また、赤そば畑やもみじ湖に訪れる観光客にみのわテラスに立ち寄ってもらうため、観光サイトへのWEB広告を掲出するほか、現地にテラスへ誘導するQRコードのスタンドを設置するなど、お金の落ちる観光拠点としても育てていきます。

令和4年度は**農業応援団計画**（2018～2022年度）の第1期が終了する年になります。**2020農林業センサス**によると、全国の農業従事者は2020年までの5年間で約40万人の減（22.5%減）、農業経営体は約30万経営体の減（21.9%減）となりました。長野県でも農業経営体は約1万経営体の減となり、箕輪町の農業経営体は145経営体の減（19.6%減）となりました。その主な要因は高齢化であり、農業従事者のうち65歳以上の割合が約7割となっています。

経営体の減少幅は、農業応援団計画で2018年に推計した見通しとほぼ一致しており、農地を農地として使い続ける未来をどう実現していくか、第1期の最終年として農業政策を検証し、第2期計画に向けての検討をスタートします。

町内の農地は、兼業をはじめとする多くの小農と限られた大規模農家で支えられる、特徴的な構造です。今後、大きくは水田・畑作地ともに大規模農家への集積と集約をきめ細かく進め、経営環境の向上による農地維持を進めていくこととなりますが、特に畑作地については管理に手間を要するため、出口となる作物や省力的に農地を利用する方法の検討を進めてまいります。

また、就農や農地利用を希望する主体に提供できる、農地の準備ができる体制づく

りを進めます。具体的には人・農地プランにおける各地区の農地利用について、ある程度品目ごとの集約に向けた未来像についてご相談していくほか、集積した農地を次の担い手に渡すまでの中間的な管理についてもJ A上伊那と協力して体制づくりを検討していきます。新規就農の多い果樹については、先行して団地化・整備し、担い手に渡していくなどの方策も協議してまいります。

また、経営面積が1 h a以下の「小農」「兼業」については、当町にあっては農地の実に44%を支える大きな存在であり、継続する、新たに農地を使って取り組みたくなる環境づくりを検討してまいります。その入り口としても、技術の修得と交流をセットにした体験を提供する**交流菜園事業**を継続します。

農業者の高齢化や担い手不足が進む中、新規就農者は堅調に推移し、平成24年度に新設された国の農業次世代人材投資資金の受給者は累計15経営体16名（うち1夫婦経営体）となっています。引続き国の交付金活用に加え農地の確保や居住支援など積極的に**新規就農者の支援**に努めてまいります。

令和元年度から意欲ある担い手の育成・確保を推進するため農業用機械や農業用生産施設の導入を町独自に支援する**農業機械等導入事業補助金**を創設し、担い手の経営規模拡大や農畜産物販売金額の増加などに取り組んでいます。令和3年度から交付要件を緩和したところ小・中規模農家に多く活用いただきました。また、農業従事者の減少対策としてスマート農業機械の導入について補助率と補助上限額を改正し、直進アシスト付のトラクターや田植え機、リモコン式の草刈機の導入に対して補助を実施しました。スマート農業技術の活用については農業従事者の高齢化・減少対策としてさらに推進していく必要がありますが、農業機械が高額であること、町内の圃場の多くは狭いことからその農業技術を十分に活用しきれない側面があります。そのため、水管理システムやリモコン式草刈機、果樹園用自動草刈機など活用が期待できる農業機械等の導入を推進していくため実証会を開催し、農業者への周知と導入の推進を図ってまいります。

近年の台風や局地的な豪雨、降雹等の異常気象によって農作物被害が多発しているため、収入減少による農業経営リスクの備えとして、収入保険や果樹共済の保険料を補助することにより農業共済の加入促進に取り組んでいます。収入保険の補助は全国的に実施している自治体が少ない中で、令和2年度から実施した結果、順調に加入が増加していますので安定した農業経営を維持するため継続実施してまいります。

また、令和3年度は春先の凍霜害により町内の果樹に多大な被害が発生しました。

果樹農家は様々な凍霜害の防除対策を行っていますが、毎年のように被害が発生している状況であります。そこで廃糖蜜を利用した防除対策として町内数箇所の果樹園地で実証実験及び実証結果報告会を開催し、一定の効果が現れるようであれば町内の果樹農家へ拡大していくことを推進してまいります。

米政策については、平成30年産以降、産地主体による需要に応じた米の生産に切り替わりましたが、国の需給見通しなどによる情報を基に県が示す生産数量目安値内の適正生産に取り組んできました。しかし、人口減少により米の消費量が減少傾向にあることに加え、コロナ渦の影響により需要が減少したことから令和4年産の生産数量目安値は、前年比較で数量71トン、面積換算で11.0haの減配分となりました。前年の令和3年産生産数量目安値は、前年比較で数量49トン、面積換算で9.3haの減少と2年続けての大幅減配分となり大変厳しい情勢となっています。このため、米価維持など稲作経営の安定化を図るために、需要に応じた適正生産に取り組むことが必要であり、転作作物扱いとなる水田活用米穀（加工米、飼料用米）や**WCS用稲（稲発酵粗飼料）**の作付を引続き促進してまいります。また、酪農が盛んな町としてWCS利用促進のため、町農業再生協議会を通じて利用する畜産農家に対し取引ロール数に応じた補助を引続き実施してまいります。

しかし、米の消費量は年々減少しているため、米価維持には米の適正生産をさらに推進する必要があります。転作率は既に50%を越えていることが課題となりますが、新たな転作作物を導入するなど、水田のフル活用を検討してまいります。

農業委員会については、耕作放棄地の発生防止・解消、農地の集約・集積に取り組んでいます。

**耕作放棄地**については、令和3年度の農地パトロールの結果、新規及び継続を含めて13.76haが確認されました。町内農地面積のうち耕作放棄地面積の割合は0.81%となっており、前年度の0.86%から比較すると減少傾向にあります。また2.41haの耕作放棄地が解消されました。

農地の集約・集積については、令和3年4月現在、担い手への農地集積率48.83%となっています。担い手の経営安定を図るため農業委員会と共に**人・農地プラン**に取り組んでまいります。さらに推進していくために町内農地をどのように利用・維持していくかの全体的な方針を組み立てることが必要ですので、最優先課題として取り組んでまいります。具体的には農地の有効活用の施策として、JA上伊那と協力しながら農作物のエリア分けをする農地ゾーニングについて検討してまいります。こうした取り組みにより、引続き農業委員会を中心に耕作放棄地の発生防止・解消対策を

図るとともに、**人・農地プラン会議**の開催や農地中間管理機構の活用等により担い手や新規就農者への農地集約・集積を推進し、農地利用の最適化を進めてまいります。

また農業委員会だよりを年4回発行し町広報誌と一緒に全戸配布することで、住民の皆さんへ町の農業を知っていただく取組みを進めます。

## ○林業、農業基盤整備関係

土地改良事業関係では、各区から要望があった農業用水路等の改修工事を優先度の高いものから実施するほか、土地改良区が維持管理主体となっている水路等の改修工事への助成を行うなど、農業施設の適切な維持管理を順次進めてまいります。

**多面的機能支払交付金制度**は、地域の手で農地・農業用施設や地域環境を守る自主活動組織に支援を行うもので、引続き町内12地区へ支援を行ってまいります。

林業関係では、**長野県森林づくり県民税**の森林づくり推進支援金を活用し、大雨時の出水対策として林道中樽線の横断水路改修工事を実施いたします。また、個人所有が多い里山の整備を促進するため、県や林業事業者などと連携して、各種制度を活用しながら地域と共に取り組んでまいります。

松くい虫の被害は年々北上し、標高の高い山林にも被害が広がっている状況となっています。被害拡大防止のため、被害木の早期防除（伐倒くん蒸処理）を引続き実施いたします。また、福与地区で平成28年度から町が実施していた**樹種転換事業**につきましては、令和3年度で事業が終了しましたが、隣接箇所において林業事業者（上伊那森林組合）が事業主体となって信州の森林づくり事業として事業を実施いたします。

森林整備の推進を図るための森林経営管理法（新たな森林管理システム）の運用準備を進めるため、平成31年度に創設された**森林環境譲与税**を財源とした地番図整備を沢から富田地区にあたる西の山林を対象に引続き実施し、森林整備の意向に関する意向調査（アンケート）を福与、三日町、東箕輪地区の一部で実施いたします。その他の森林環境譲与税の使途事業として、林業における課題の整理や今後の整備方針などを取りまとめた森林ビジョン（仮名称）を令和5年度の完成を目標に策定します。

町の面積の63.8%が森林であるものの、地形の厳しさや路網からの距離、林業事業者の少なさなど様々な要因から森林整備が進んでいない状況があります。令和4年度には検討委員会を組織して森林整備を進めるための研究を行います。

ながた自然公園内の除間伐や、地元要望等による危険木・支障木除去を目的とした森林整備については継続実施いたします。

また、令和2年度に豊島区と締結した森林（もり）の里親に関する協定に基づき、豊島区に譲与される森林環境譲与税を活用して、豊島区が実施する森林整備事業「**としまの森事業**」において、ながた自然公園周辺の森林整備作業を箕輪町が代行して継続実施いたします。

農作物に甚大な被害をもたらしている鳥獣対策は、**鳥獣被害対策実施隊を組織し**、町猟友会の協力を得ながら、引続き被害防止に努めてまいります。

## ○商工業の振興

新型コロナウイルス感染症に経済活動は依然翻弄され続けており、半導体をはじめとする部品供給不足の影響も相まって町内の事業者には非常に厳しい状況が続いております。新型コロナウイルス感染症対策として、これまでに様々な施策を展開してまいりましたが、先の見通せない状況に対し、新年度においても機動的に必要な予算措置をしてまいります。また、「**A f t e r コロナ**」を見据えた施策も展開してまいります。

基幹産業である工業の維持・発展は、町の将来に欠くことのできない重要な要件であります。現在、町内には分譲中の工業団地や紹介可能な産業用地がないことから、企業の新規立地の受け入れや、町内企業の移転・拡充の受け皿を確保するため、新たな産業用地の開発についても具体的に検討していく必要があると考えております。令和4年度では、企業の立地意向について調査・分析を行うと共に、産業用地の候補地の適地選定及び開発計画等の検討を行うことにより、町内の産業用地開発を促進するための**企業立地促進に向けた産業用地適地調査**を実施してまいります。

「**箕輪町工業ビジョン**」は4年目の中間年にあたりることから見直しを行い、デジタル化やゼロカーボンに向けた温暖化対策など今後の企業経営に必要な要素を採り入れて推進してまいります。また、新たに中小企業者の「デジタル化対応」の取組みに対して**DX推進事業補助金**を交付し、推進してまいりますとともに、「みのわゼロカーボンシティー推進プロジェクト」では、(一財)省エネルギーセンターの実施する「省エネ最適化診断」を実施する中小企業者に対して**省エネ最適化診断補助金**を新設し支援してまいります。

地域資源の発掘・育成と産業への活用を図るため、町内企業における高いものづくり技術を町内外へ発信し、企業間マッチングなどで着実に成果をあげている**企業支援相談員**につきましても引続き配置をし、DXやゼロカーボンの相談にも対応してまいります。また、町内外企業の動向等を的確に把握し企業振興を支援するため、引続き



企業振興相談員を配置するとともに、企業の設備投資に対する**工場等設置事業補助金**や制度資金の周知・活用を図り、企業誘致の推進や中小企業者の経済活動を支援してまいります。

町商工会とは産業経済振興施策の共有化を図り、産業支援センターみのわ内での更なる連携を強化し、新型コロナウイルス感染症対策事業やキャッシュレス化事業の推進、企業の雇用・魅力発信など、商工業の活性化に向けて取り組んでまいります。また、中心市街地商店街の活性化を推進する**TMOへの支援**を引続き行ってまいります。

町内小規模事業所に働く方の福利向上のための町勤労者互助会についても加入促進等を行いながら、商工業基盤の更なる安定化と勤労者の福利厚生への支援と利便を図ってまいります。

昨年10月にオープンした**東みのわサテライトオフィス「夢まちLabo」**は、気軽に立ち寄れるカフェやコワーキングスペース等の利用が好評をいただいておりますが、更なる利用促進に取組み、人と人、地域や地元企業、都市部企業が新たなプラットフォーム「**みのわSTYLE**」で出会い、繋がることにより、町民が更に活躍する場を創出してまいります。

## ○観光の振興

新型コロナウイルス感染症拡大により、旅行の自粛や観光イベントの中止など、町の観光事業は大きな打撃を受けております。主要な観光施設である**ながた荘、ながたの湯、ながた自然公園、萱野高原等**では引続き、感染症対策を徹底し、**With**コロナ時代に対応した誘客やイベントの開催などを進めてまいります。

旅行予約サイトの「おすすめ紅葉スポットランキング」で2年連続全国1位に選ばれた**箕輪ダムもみじ湖**は、テレビなど多くのメディアで取り上げられたこともあり、約68,000人と過去最大の人出になった昨年度を更に上回る、約106,000人の観光客で賑わいました。もみじの名所として脚光を浴び、全国から多くの方に訪れていただけたようになったことは、大変喜ばしいことですが、一方で交通渋滞等により、地元の皆様の生活に迷惑がかかる問題が起きています。新年度では、こうした状況を改善するため、新たな取組みによる受入環境の整備に努めます。令和3年度に初めて配置した**交通誘導員**を、日数、人数等拡充して配置し、渋滞緩和と円滑な駐車場誘導を行います。更に、駐車場の不足による渋滞を解消するため、新たに**臨時駐車場とシャトルバス**を運用し、パークアンドバスライドによる渋滞の解消を試みます。

もみじ湖と同様に、全国的に注目されている**赤そばの里**につきましても、引続き多くの皆様にお楽しみいただけるよう、上古田区、古田の里赤そばの会と協力して**受入環境の整備**を進めます。特に、**電動車いすの貸し出し**等、全ての人が楽しめる観光地を創るユニバーサルツーリズムを意識した取組みを進めてまいります。

観光行政全般では、観光客の町での滞在時間の拡大と観光消費額の増大が課題とされています。令和4年度では、町内の地域資源を活用した非日常の楽しみを提供する「観光商品」の開発に取組む事業者を**観光商品開発等支援事業補助金**で引続き支援し、町内での滞在と消費を促進する観光商品が数多く生まれるよう開発支援を進めます。更に、新たな取組みとして、もみじ湖を訪れる観光客の皆さんに、「**周遊パスポート**」を配布し、町内飲食・小売事業者等との協働による特典の提供や、景品が当たるスタンプラリーなどにより、観光客の町内への回遊と、町内店舗での消費の喚起を図ってまいります。

観光における広域連携では、引続き、**長野伊那谷観光局**や**各市町村観光協会**と協力しながら誘客宣伝などを推進してまいります。また、辰野町、南箕輪村と3町村で構成する**上伊那北部観光連絡協議会**では、これまで進めてきた、**サイクルツーリズム推進事業**を継続し、自転車を活用した観光誘客を進めてまいります。

2021みのわ祭りでは、新型コロナウイルス感染症により、多くのイベントが中止を余儀なくされる中、初めてとなるオンライン開催により、町民の皆様が楽しめる機会を作ることができました。**2022みのわ祭り**は、オンライン等**With**コロナ時代に対応した新しい手法を取り入れつつ、実際に町民が集うイベントの開催を目指して実行委員会の主導により検討をしてまいります。

#### 令和4年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継	農業委員会だより発行	412
継	農業機械等導入事業補助金(農業機械等導入分)	5,000
継	農業機械等導入事業補助金(栽培関係施設分)	1,000
新	農業機械等導入事業補助金(スマート農業機械等導入分)	4,000

新	凍霜害防除対策実証実験事業謝礼金	420
継	農業共済加入促進事業補助金	980
箕・継	農業人材力強化総合支援事業交付金	17,250
箕・継	新規就農者農業電子図書館利用料	106
継	町営農支援センター交付金	2,000
継	農業振興交付金	1,500
継	中山間地域農業直接支払事業交付金	7,456
箕・継	農業応援団 交流菜園事業	242
継	有害鳥獣駆除関係事業	6,342
箕・継	みのわテラス指定管理料	4,413
新	給食食材供給推進補助金	900
継	地域果実振興対策事業補助金	3,184
継	多面的機能支払交付金事業交付金	31,689
継	区要望の水路等改修工事・設計委託料・原材料	15,300
継	土地改良区水路改修補助金	9,970
新	農林水産省共通申請サービス(eMAFF)データ移行業務委託料	1,870
継	林地台帳システム整備委託	4,180
継	としまの森整備業務委託	3,700
継	危険木等除去委託料	550
新	森林ビジョン策定支援業務委託料	3,000
継	林道整備工事費(推進支援金事業含む)・設計委託料・原材料	6,743
継	森林整備事業補助金	6,949
継	松くい虫伐倒駆除業務委託	11,320

継	企業支援(主任)相談員・企業振興相談員の配置	8,152
新	企業立地促進産業用地適地調査業務委託	5,619
新	工業ビジョン見直し支援業務委託	499
継	工場等設置事業補助金(用地取得費補助含む)	55,600
継	商工会関連補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模事業経営支援事業(経営指導員設置等)</li> <li>・商業活性化事業(商業・商店街活性化事業等)</li> <li>・受注確保対策事業(展示会出店等)</li> <li>・雇用安定対策事業(福利厚生等)</li> <li>・先端技術対策事業(研修会等)</li> <li>・建設業振興事業(講習会等)</li> <li>・商工会総合振興事業(地域産業振興等)</li> </ul>	19,000
継	TMO補助金	1,500
継	長野県南信工科短期大学校修学助成金	480
継	知的財産権申請料補助金	150
継	工業製品試験手数料及び設備利用料補助金	300
継	産業に関する国際規格等取得補助金	1,000
継	事業承継支援補助金	400
新	DX 推進事業補助金	2,000
新	省エネ最適化診断補助金	1,250
新	東みのわサテライトオフィス利用促進業務委託料	7,000
継	みのわ祭り実行委員会補助金	8,000
新	もみじ湖観光案内員謝礼	330
継	もみじ湖交通誘導業務委託	9,559
新	もみじ湖シャトルバス等運營業務委託	5,711
新	もみじ湖臨時駐車場管理システム構築等業務委託	7,000

新	もみじ湖交通対策工事	17,800
新	周遊パスポート事業業務委託	1,782
新	もみじ湖光ケーブル敷設業務委託	2,530
継	ながた自然公園支障木伐採業務委託	1,199
継	赤そばの里等景観形成活動補助金	2,450
継	観光商品開発等支援事業補助金	1,600
継	箕輪町観光協会補助金	3,500

## ❖ 5 住みやすい都市基盤をみんなで作るまち

### <景観の保全など>

天竜公園とセンターパークなどの公園施設は、町民に一層親しまれるよう適切な環境整備を行ってまいります。

令和3年度から数年の計画で、老朽化が著しい天竜公園の施設は、現在の規模をおおむね維持しながら改修を行い、利用者の利便性と満足度の向上に努めているところです。令和4年度は、昨年度に引続き木製ベンチの一部を耐久性のあるベンチに改修します。

景観や自然環境の保全・育成と調和のとれた開発を目指し、平成28年度から景観行政団体となっており、引続き条例に沿って適正な審査を行ってまいります。

### <道路橋梁等の整備>

社会資本整備総合交付金事業では、引続き町道3号線大出地区の舗装修繕工事を行ってまいります。

防災・安全面では、町道1号線架かる中原大橋他9橋の詳細設計を行います。

また、平成24年の笹子トンネル天井板落下事故などを受け、平成26年度から5年に1回の近接目視による橋梁点検制度がスタートし、平成31年度からは2順目の近接目視点検となり、令和4年度の実施に必要な経費を計上いたしました。

狭あい道路整備等促進事業としては、近年、住宅分譲等され住宅が増加している三

日町田中城地区の拡幅改良工事を計画していくための現地測量等の調査費を計上いたしました。

**交通安全対策工事関係**では、横断防止柵設置やグリーンベルトの設置経費を計上し、区要望・PTA要望等を精査しながら、必要度の高い箇所から実施する計画です。

**各区からの要望事業**では、道路整備事業として町道1号線八乙女地区ほか4路線を計上、舗装補修、側溝等修繕事業として、町道142号線沢地区の舗装打替など合わせて30か所を計画したほか、舗装のパッチングや甲蓋などの維持補修に係る経費についても引続き計上いたしました。

また、近年の豪雨により越水による被害、護岸被害が多発している桑沢川の負担軽減として、沢・大出地区における雨水排水対策事業を推進してまいります。令和4年度は、現地測量等の調査費を計上しました。

### <国県道等の整備促進>

各期成同盟会への負担金などを引続き計上し、国道改良や県道改良などの要望活動を行ってまいります。特に、昨年10万人を超える観光客により、大渋滞が発生した県道諏訪箕輪線の道路改良や、県道与地辰野線、県道伊那辰野停車場線、県道伊那箕輪線等の歩道整備、さらに、昨年8月豪雨により被災が著しい桑沢川の改修等を重点的に要望してまいります。

### <公営住宅の整備と長寿命化>

老朽化した長岡公営住宅の屋根塗装工事やデッキの一部改修工事を計画したほか、引続き3つの公営住宅の必要な修繕を行ってまいります。

### <インフラの維持管理等>

道路環境の維持に努めるため、地域や各区などの協力を得ながら、舗装の緊急対応の必要な補修作業を引続き行ってまいります。また、緊急浚渫推進事業債を活用した縦ノ木川や町の管理する準用河川の堆積土の撤去など河川的环境保全を図るほか、各区を支部とする町道路河川愛護会に対する補助を継続するなど、道路河川の維持・管理を町民との協働で行ってまいります。

住宅関係では、耐震基準が改正された昭和56年以前に建てられた木造住宅の耐震診断及び耐震補強について、引続き補助を行ってまいります。令和4年度からは耐震診断の結果、補強工事が必要と判定された住宅を建替える場合も新たに補助金の対象としてまいります。

<上下水道事業>

上水道事業、下水道事業については、後ほど、特別会計の段で申し上げます。

令和4年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継	社会資本整備総合交付金事業 舗装修繕 町道3号線大出地区 防災・安全社会資本整備総合交付金事業 橋梁長寿命化 町道1号線他 中原大橋他9橋 橋梁長寿命化近接目視点検業務委託	83,427
継	道路等の改良整備事業 各区要望による町道1号線八乙女地区ほか4路線	93,670
継	道路等の維持補修 各区要望などによる町道 142 号線沢地区ほか 30 箇所	102,115
継	狭あい道路整備等促進事業 町道 506・513 号線 三日町田中城地区	12,030
継・箕	交通安全対策工事 横断防止柵設置 グリーンベルト・区画線設置	3,710
新	雨水排水対策事業 町道 142 号線他 沢・大出地区	13,000
継	河川堆積土砂撤去等事業(緊急浚渫推進事業)	39,000
継	みのわ天竜公園ベンチ改修工事	2,000
新	長岡公営住宅屋根塗装工事	3,080
新	長岡公営住宅デッキ改修工事	2,775
	【上水道事業】	
箕継	重要給水施設管路更新事業 (大原配水系、上古田配水系、長田配水系)	187,570
箕継	上水道管布設替工事	10,000
継	上古田配水池原水濁度計更新工事	4,620

	【下水道事業】	
箕継	下水道接続推進補助金	3,300
継	下水道不明水対策(調査点検業務委託)	5,495
継	下水道管路清掃業務委託	12,800
継	箕輪浄水苑長寿命化事業	5,272
箕継	汚水管渠埋設工事 (社会資本整備総合交付金事業・町単独事業)	31,100
継	下水道事業会計への繰出 農業集落排水事業分 154,595 千円 公共下水道事業分 447,312 千円	601,907

## ❖ 6 学び合い、共に育てるふるさとのみち

相手を尊重し、共に学び合い、互いに高め合うことを基盤に、地域やまちのよさを体得しながら郷土愛を育むことを通して、まちに住む人やまちを想う人にとって心のふるさとになるようなまちづくりを目指し、次の3つの基本方針に沿って「ふるさと箕輪を愛し、自ら人生を切り拓いていく人づくり」のための事業を進めます。

### 1 地域への愛着と誇りを育てる教育の推進

町民総参加の教育の推進として、家庭・地域・学校・保育園・企業などが連携して教育や人材育成に参加し、交流や学びを通して地域社会へ目を向け、地域を創造していくことができる教育を進めます。

**あいさつ運動の推進**、各地区の見守り隊との連携、小学校の夏休み寺子屋教室や中学校の放課後学習の取組みなど、地域の方にボランティア参加をいただきながら引き続き実施します。

小・中学校におけるキャリア教育を通して、地域や多くの事業者の協力をいただきながら、ふるさとで働くことの尊さについて学ぶことができました。令和4年度は第9回となるキャリア教育フォーラムにおいて、自分たちの取組みを発表したり、他校のさま



さまざまな活動から学んだりする場として開催します。

地域と学校との関係を大切に、地域と共に歩む**信州型コミュニティスクール**を全小・中学校で実施し、開かれた学校づくりを推進します。特に、近年多発している大きな災害に備え、地域の防災対策と連携し、安心安全な学校づくりや「自助、共助」の資質育成に取り組めます。

なお、学校での新型コロナウイルス感染症拡大防止対策については、引続きマスクの着用、消毒や換気の徹底や3密の回避等に努めるとともに、校内行事は感染予防対策に万全を期しながら、極力実施できるよう検討します。修学旅行や校外活動においては、その趣旨にのっとり実施できるよう時期や目的地の検討を含め工夫します。また、1人1台パソコンの活用を進め、万一の学校休業に対応したオンライン学習ができるよう、接続テストや定期的に端末の家庭への持ち帰りも実施し、学校休業時の学習保障に努めます。

また、**ふるさと学習「箕輪学」**については、平成30年度に発刊した資料集を引続き活用して、地域に愛着と誇りを持てるような学習に取り組めます。小・中学校におけるふるさと学習の充実のため、**新任教職員の研修**などを実施します。

**青少年健全育成**については、青少年の非行・被害防止、地域の健全な環境を整備するため、街頭啓発・有害環境チェック活動・巡視活動・あいさつ運動等を行うとともに、青少年健全育成推進協議会・地区子ども会の活動を推進してまいります。

また、児童遊園については、誰もが安心して利用していただけるように、危険な遊具の撤去・修繕を行い、環境整備に取り組めます。

**人権尊重のまちづくり**については、人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別をなくし、人権意識の正しい理解と認識を深められるよう、講座・学習会・講演会等の学習機会の充実に努めます。

## 2 自己肯定感をもち、創造的に生きていく教育の推進

保育園では、豊かな探究心と自己肯定感をもち、主体的に活動できる「みのわっこ」を育成するために、子どもの「みたい」「触りたい」「知りたい」「やりたい」の好奇心を育む保育や、経験豊富な地域人材を生かした「みのわっこチャレンジ事業」に引続き取り組めます。

学力向上に向けた施策としては、教職員の指導力向上を目指す「キャリアアップのための各種研修」や「授業の充実を目指す校内研修」の充実を図り、教職員一人ひとりが「**学校づくりの根幹は授業づくりである**」という自覚を深める学校づくりを継続します。そのために**学びの改革実践サポートティーチャー**が各校を巡回し、「**学習スタ**

ンダード」を基盤とした授業改善と学級づくりを引続き進めます。

また、引続き標準学力検査を実施し、客観的なデータをもとに経年的な変化を分析しながら、児童生徒個々の学力の伸長につながる**指導力の向上**に役立てます。その推進役として、学校教育指導主事を引続き配置し、教育先進自治体との教育連携を進めるとともに、**中学生の学力向上**を図るための補助教員を継続配置します。

学校と家庭が「**グレード・アップPLAN**」による「子ども観」を共有し、引続き子どもたちの自己肯定感を育みながら健やかな成長を支えていく体制を、保護者と学校が協力して整えてまいります。

「生きる力を育成する学校教育の推進」として、グローバル化の進行や社会変化の激しい時代を生き抜くために必要となる「**基礎的知識を活用し、自ら考え、判断し、表現する力、コミュニケーション力**」を育む取組みを進めます。

箕輪町のICT教育は、県下でも先駆的にICT機器の配備を進めてきました。

令和2年度には、国の進める**GIGAスクール構想**の前倒しを受け、いち早く1人1台の学習者用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備しました。その目的は子どもたち一人ひとりの個性に合わせた教育の実現にあります。変化の激しい時代を生き抜くには、多様な子どもたちをだれ一人取り残すことのない、個別最適化された創造性を育む教育の実現が重要であり、ICT教育で次世代の人材を持続的に育てる必要があります。その成果が認められ、令和3年12月には町内全小中学校6校が日本工芸技術院から「**情報化優良校**」として認定されています。

令和2年度から小学校で実施された学習指導要領には、「**情報活用能力の育成**」や「**ICTを活用した学習活動の充実**」が明記され、プログラミング教育が必修化となり動画の活用なども求められています。プログラミング教育では、算数や理科等の教科学習をはじめ、すべての教育活動を通して論理的な学びを体験していくほか、パソコンの操作を学び、理解や技能の習得を進めることが望まれております。

ICT機器の活用については、導入後の効果や使い勝手の確認も含めて、活用計画やフォローアップなどを今後も続けていくことが重要であります。そのため学校教育課内に**教育DX推進センター**を設置し、ICT教育支援員を3人配置します。

各小中学校を巡回し機器のトラブルやICT機器の授業活用支援をはじめ、校務支援システムの運用など幅広く教職員を支援対応します。併せて教職員の研修や資格取得支援も積極的に実施してまいります。また、新たに東京学芸大学と連携した授業指導を1年通して実施してまいります。

なお、教職員に対しては、児童生徒と向き合う時間の確保が求められていることから、県教育委員会と連携し、教職員の業務を支援する「**校務支援システム**」を継続活

用します。ICT機器の整備面では、教職員用の校務兼学習パソコン122台を配備し、授業や校務の効率化を図り、更なる教職員の働き方改革にもつなげてまいります。

また、一人一台パソコンの自宅への持ち帰りや、スマートフォン、家庭でのパソコン利用にあたり、不正請求やチャットなどによる情報事故に対応するため、引続き情報モラルアドバイザーへの相談窓口の設置や研修を実施してまいります。

また、子どもたちの学びの保障のため、文部科学省が開発している**オンライン学習システム（MEXCBT（メクビット））**の活用導入を進めていきます。

**英語指導外国人配置事業**は、指導助手を小学校に3人、中学校に2人配置し、これからの時代に求められる4技能（「聞く」「読む」「話す」「書く」）の習得を目指した英語学習に引続き取り組みます。

また、英語教育においても、すでに各学校に配備されているChromebookを活用した授業を実施し、町内の小学生や他地域の小学生とオンライン形式でペアワーク等を行い積極的な交流も進めていきます。

**食育推進**については、「ふきはら給食の日」を毎月1回実施するなど、食育と地産地消の活動を推進するとともに、学校給食を通して地域の高齢者との交流を進めてまいります。

**読育の推進**については、保育園から中学校までを通して、豊かな心とコミュニケーション能力を育むことができるよう進めます。図書館に入れる本を子どもたち自ら選ぶ「選書会」は、箕輪町独自の取り組みとして継続実施します。図書館司書の研修を充実させ、学校図書館を活用した授業の発展、情報発信の基地としての図書館運営の充実を図ります。

特色ある学校運営に向けては、**小中学校教育振興交付金**により各学校が主体的で魅力ある学校づくりや、子どもの学力向上、教員の指導力向上に向けた取り組みを継続してまいります。

また、すべての子どもの学びを保障するために、特別支援教育支援員を継続して配置し、支援を必要とする児童・生徒に対しきめ細やかな対応を行ってまいります。

いじめ・不登校等悩みを抱える児童生徒の支援として、中間教室指導員を複数配置し、こども相談室・中学校内フリースクール・親と子の相談員・スクールカウンセラー等、関係機関と連携した支援体制を整備し、子どもたちが安心して学ぶことができる居場所づくりに取り組みます。また、経済的支援の必要な児童生徒への就学支援を行い、義務教育の円滑な実施を図ります。

学校施設整備については、各学校の教室や渡り廊下の一部に補修が必要な床等の修繕工事を中心に対応してまいります。

その他には、学校体育館における避難所の災害対策も兼ねて、西小学校の体育館トイレの利便性向上のための改修工事を行います。

さらに、中部小学校敷地内で藤が丘体育館付近にトイレを新設するための設計及び工事を予定しています。

箕輪町の次代を担う子どもたちの健やかな成長を支援するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図るため、令和4年度も小中学校への入学時に子育て応援小中学校入学祝金をお贈りします。

学童クラブは、全ての小学校区で開設していますが、全児童の約4割が利用するなど利用児童数が増加しています。中部教室及び東部教室の教室拡張工事の実施や、ICT環境の整備など社会情勢の変化に対応した健全な学童保育環境の提供に引き続き取り組んでまいります。

### 3 社会とつながりを持ち学び続ける教育の推進

社会教育は、国際化、情報化や価値観の多様化を背景に、時代に即した生涯学習の推進が求められ、特に人との関わりの中での学ぶことが大切です。しかし、この2年間は、感染症の拡大とその予防対応の結果、「人が集い、学び、つながる」機会に多大な影響を受けました。感染症対策を徹底しながら、住民ニーズに応え、住民同士の関係性を深める社会教育、生涯学習の場づくりを推進してきましたが、引き続き感染症の状況を注視しながら、ふるさとの伝統文化の継承を始め、芸術・文化・スポーツの振興に資する支援や取り組みを行います。

歴史ある町内一周駅伝大会は、2年間未実施となりました。各分館が事前の練習期間の中で、地区の一体感を育むとともに、異世代交流の大事な機会ともなり、地域コミュニティ形成の一翼を担ってまいりました。「駅伝のまち 箕輪」継承の意義からも開催を目指したいと考えます。

みのわ町民文化祭についてもこの2年間は、展示の広場中心の文化祭となり、芸能・音楽の発表は録画発表等の対応とし、制限を設けて実施しました。展示のみでしたが、作品参加状況からも「箕輪の文化の灯をともし手作りの文化祭」への期待の大きさを感じます。文化団体等の活動状況を把握しながら、ステージ発表の再開も含めて検討してまいります。

**公民館本館事業の成人大学・学級や各種講座**は、感染症で活動が制限されている状況ですが、感染予防に努めながら受講生同士のつながりを大切にして教養を深められるように取組みます。若い世代を対象とした講座も実施し、幅広い世代の方と関わることで、さらに地域との連携を深めてまいります。

**公民館分館活動**については、相互の情報提供や共有を図りながら、コロナ禍で地域に根差した分館として、どのような活動できるのかを模索し再開に向けて努め、地域活性化を図ります。

**郷土博物館の耐震改修工事**に向けた取組みでは、実施設計を行うとともに、工事着手前の準備として、重要美術品をはじめとする各種資料や道具等を中原文化財調査施設に移動します。

**博物館事業**では、引続きコロナ禍の中でも学ぶことができる取組みを実践してまいります。また、改修前最後となる特別展や各種講座を実施します。

**文化財保護事業**では、町の大切な財産である各種文化財について、所有者の皆様と協力して、引続き適切な保存・管理に努めます。特に、天然記念物に関しては、安全と保護の両面から、今後の保存方法等について検討してまいります。

**図書館**については、「なごみーな」も活用しながら、乳幼児から高齢者まで生涯を通じて読書や文化に親しむことで、学びや教養を高める場として運営してまいります。

**図書館事業**は、知の情報拠点として、利用者のニーズに合った蔵書の充実を図るとともに、本に親しみ本の魅力を知ってもらうため幅広い情報発信に努めます。また、読書推進のきっかけとなる各種講座やイベントを行ってまいります。県立図書館と市町村図書館で取組む「協働電子図書館」に参加し、読書・学習環境を拡充します。

**読育推進事業**については、保育園や小中学校との連携を一層図るとともに、読育ボランティアの育成や読み聞かせ等の事業に取組みます。

**文化センター**については、開館から25年が経過し、ホール設備や建物設備が老朽化しているため、町文化施設長寿命化計画に基づき、各種改修を進めます。

新年度は、ホール内の舞台設備・照明・音響などの機器更新を行います。建物設備についてもエレベーター・自動ドア・自家発電設備などの修繕を実施します。

コロナ禍でも住民に元気を与えられるような文化センターホール自主事業として、ファミリーコンサートを開催し、親子で笑顔になっていただきたいと思います。

生涯スポーツの振興については、年齢や性別を問わず、体を動かすことを通して他者との連帯感や精神的な充足感が得られ、体力の向上、健康の保持増進ができるよう生涯スポーツの振興を図ります。

公民館主催の**箕輪町町内一周駅伝大会**は、スポーツを通じて健康な心身の育成と町民相互の親睦や絆を深める大切な行事ですので、この状況下で実施できる方策を検討します。

毎年、多くの方にご参加いただくウォーキングイベントについて、町主催の**みのわナイトウォーク**は感染状況に応じ内容を検討しながら開催を目指します。また、実行委員会有志が企画実施する**天竜健康ウォーク**などへも協力も行き、「ウォーキングのまち箕輪」を引続き全国へ発信し、町の知名度向上を図りたいと考えます。

**フェンシング事業**については、全国カデ・エペフェンシング選手権大会等の全国大会の開催を通して競技の振興を推進し、「フェンシングのまち箕輪」を発信するとともに、2028年長野県開催の国民スポーツ大会の会場地として内定した同競技の普及拡大、選手強化や育成を図るための講習会などを開催する予定です。

また、今後のスポーツの振興については、スポーツ人口の増加や底辺拡大を目指し、各種スポーツ団体やスポーツ推進委員と協働で行う子どもスポーツ体験教室など様々な種目のスポーツ振興や松本山雅FC（プロスポーツクラブ）による少年サッカー教室を実施します。

**屋内体育施設整備**については、町民体育館・武道館の安全で機能的な施設改修に向けての検討を引続き行ってまいります。

#### 令和4年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
箕・継	みのわっこチャレンジ事業	1,222
箕・継	子ども居場所木質空間整備事業、県産材を利用した遊具・備品購入	394
箕・継	みのわっこチャレンジ事業(読育)	1,102
継	子育て応援小中学校入学祝金	4,600
箕・継	英語指導外国人講師委託	27,339

継	支援が必要な児童・生徒に対して、支援員を配置し、安全安心で充実した学校生活を確保する。	42,125
継	学校教育指導主事の配置	2,676
箕・継	スタディサポート事業 (夏休み寺小屋教室 400 千円、学習指導員謝礼 600 千円)	1,000
箕・継	小中学校教育振興交付金 子どもの学力向上、教員の指導力向上、魅力ある学校づくりなど、学校の創意工夫を凝らした自立的な取組みを支援	4,000
継	標準学力調査の実施(小学校 1,190 千円、中学校 1,260 千円)	2,450
新	児童生徒1人1台パソコンの活用やICT機器を活用した教職員への利用支援や研修を目的とした、教育 DX 推進センター設置に伴うICT支援員の追加配置	9,192
継	ICT教育環境整備としての大型提示装置継続使用(小中学校)	8,508
新	トイレ改修及び設置工事 (西小学校体育館 14,080 千円、中部小学校避難所用 25,498 千円)	39,578
新	学童クラブ東部教室改築工事	10,065
新	文化センター各種施設長寿命化改修工事	148,702
継	文化センター自主事業委託 ファミリーコンサート、日本の太鼓 in みのわ、人権講演会、豊島区交流アンサンブルコンサート等	4,730
箕・継	みのわナイトウォークの開催	7,075
箕・継	フェンシングによるまちづくりの推進 全国カデ・エペフェンシング選手権等の開催	3,400
継	町内一周駅伝大会・みのわ町民文化祭の実施	4,786
継	公民館大学・学級、講座などの成人講座事業	821
箕・継	青年世代を対象とした講座の実施	50
継	一般図書及び映像資料購入	5,000
継	デジタルアーカイブ事業	267

新	協働電子図書館(仮称) 電子書籍購入負担金	99
新	郷土博物館耐震改修工事設計業務委託	4,455
新	重要美術品の梱包及び輸送業務委託	1,980

令和4年度の施政並びに予算編成方針の概要と、第5次振興計画に掲げられた6つのまちの将来像に沿った主な事業の内容説明は、以上のとおりでございます。

次に各特別会計予算の編成概要を申し上げます。

## 令和4年度特別会計予算について

### ❖ 国民健康保険特別会計

箕輪町国民健康保険特別会計は、**予算総額を22億5,180万3千円**と定めるもので、**前年度比4.1%の減**となっております。被保険者数は、4,339人で前年度比247人の減を見込んでおります。

歳入の主なものは、国保税3億7,960万2千円と県支出金16億4,797万9千円で、歳出の主なものは保険給付費16億3,682万3千円と県納付金5億3,916万6千円となります。

令和4年度については税率の改定は行いませんが、被保険者数の減少及び新型コロナウイルス感染症の影響による給与所得、営業所得等の減に伴い国保税も減収が見込まれますので、医療費抑制に向け県と協力して健診や保健事業の取組みと徴収率の向上に努めてまいります。



## ❖後期高齢者医療特別会計

箕輪町後期高齢者医療特別会計は、**予算総額を3億1,550万2千円**と定めるもので、**前年度比3.1%の増**となっております。

被保険者数は、4,054人で前年度比147人の増を見込みました。

歳入は、保険料2億3,938万4千円と一般会計からの保険基盤安定繰入金6,418万6千円が主なもので、歳出は、長野県後期高齢者医療広域連合へ支払う保険料等負担金3億357万2千円と事務費1,122万9千円が主なものとなっております。

引続き長野県後期高齢者医療広域連合と連携を図り円滑な運営に努めてまいります。

## ❖介護保険特別会計

箕輪町介護保険特別会計は、**予算総額を21億6,139万6千円**と定めるもので、**前年度比3.6%の増**となっております。

主な歳出であります保険給付費は、19億9,331万2千円を見込み、前年度に比べ6,891万2千円、3.6%の増となっております。

介護保険第1号被保険者の保険料額については、「**第8期介護保険事業計画**」に基づき条例で定めており、第8期においては、基準額を据え置くとともに、低所得者に対しては、引続き保険料の軽減を行い、被保険者に対する負担の軽減に努めます。

また、今後も高齢者の増加が見込まれる中、社会保障を持続可能なものとするため、生活支援を地域で支える体制づくりがますます重要となります。

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう「**地域包括ケアシステム**」の構築を基本とし、「介護予防・日常生活支援総合事業」による介護予防の推進や、課題となっている認知症高齢者に対する施策も積極的に進めてまいります。

介護保険事業については、「第8期介護保険事業計画」を基本に、引続き適切な介護サービスの提供や保険料の確保等、需要と供給のバランスに配慮し事業を推進してまいります。

## ❖水道事業会計

箕輪町水道事業会計は、収益的収入は、5億1,053万8千円で、前年度比0.9%の増、収益的支出は、4億9,627万4千円で、前年度比0.4%の増となっております。

資本的収入は、1億8,827万円で、前年度比15.2%の増、資本的支出は、3億6,579万6千円で、前年度比17.5%の増となっております。差し引き不足額の1億7,752万6千円については、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分消費税資本的収支調整額で補てんするものです。

平成30年度に策定したアセットマネジメント(長期資産管理計画)を基本に経営を見直し、将来必要となる施設更新費用の把握と平準化を図り、水道事業を安定的に持続できるよう、**持続可能な水道基盤の強化**に取り組んでまいります。

建設改良事業は、**防災・減災及び有収率の向上**の視点から、重要給水施設に接続する老朽管の布設替工事を計画的に実施し、**安全・安心な水道の供給**に努めてまいります。

## ❖下水道事業会計

箕輪町下水道事業は、収益的収入は、10億5,596万7千円で、前年度比3.1%の減、収益的支出は、9億9,035万2千円で、前年度比3.6%の減となっております。

資本的収入は、5億7,495万7千円で、前年度比3.2%の増、資本的支出は、8億9,934万6千円で、前年度比0.2%の減となっております。差し引き不足額の3億2,438万9千円については、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金、減債積立金で補てんするものです。

令和2年度に策定したストックマネジメント計画に基づく処理場の改修により、**施設管理の最適化**を図ってまいります。

下水道接続の推進については、未普及箇所の整備工事の計画的な実施、補助制度等により**水洗化率の向上**に取り組めます。

不明水対策については、テレビカメラ等を使用した詳細の調査により、個所の特定を行い、**有収率の向上**を図ってまいります。

以上、各特別会計予算の編成概要を申し上げます。よろしくご審議ご決定くださいますようお願いいたします。